

保護者向けセミナー開催のご案内

～みんなで、一緒に考えよう～

講師による講話のほか、同じ悩みを抱える方々同士の交流や情報交換等をしていただく時間を設けています。「親子関係はどうあったら良いのか」、「子どもとどう接していけば良いのか」、「解決に向かうにはどうしたら良いのか」など、一緒に考えていきませんか？ぜひ、ご参加ください。

5月のセミナー 平成28年5月21日(土)

セミナー講師：福井県発達障害児者支援センター

スクラム福井 相談員、社会福祉士 福田志保子氏

テーマ：『就労の課題から』～青年期のさまざまな行動から～

【講師紹介】平成16年社会福祉法人ウェルビーイングつるが障害者交流センター野坂の郷を設立。平成18年10月福井県より発達障害者支援センターの委託を受諾。現在、スクラム福井の相談員として、発達障害の理解が進み、ひとりひとりの個性を認め合える社会をめざし、日々、相談・支援を行っている。

時間：13:30～16:00

対象：若年無業者のお子さんを持つご家族の方

定員：20名 (申込み方法：事前に「サポステふくい」までお電話ください。)

場所：福井県社会福祉センター

内容：講師によるセミナー・意見交換ほか

参加費 無料

サポステふくい(ふくい若者サポートステーション)とは…。

若年無業者の方の職業的自立支援を行う機関です。サポステふくいは、厚生労働省の認定事業で、福井県との協働事業として行っております。

3月開催のセミナーレポート

日時：平成28年3月19日(土)

テーマ：『若者の就労に向けての現状を変える実践ワーク』

講師：心理相談室アシスト 代表 臨床心理士 岡本克己氏

今回、参加者の皆さんには円形に座っていただき、ワーク中心のセミナーをしました。先生は、就労に向けて踏み出せない現状について、親として見守るだけでは時間だけが過ぎ、かえって焦りだけが募るのではないかと、参加者の方に現状を語っていただきました。皆さんの共通点として、親子のコミュニケーション不足や就職の失敗による挫折感が今に至っていることを挙げられました。そこで先生は、そうなった要因は必ずしも今の状態を持続させている理由ではなく、思い込みが状態を維持させていると言われました。

次に、これから先どうなってほしいかというイメージを聞くと「親子の会話が増えてほしい」が多数を占め、それを実現するために、何から始めて一歩近づけるかを皆さんで考えていただきました。親子の会話は乏しいが、共通の趣味を通じた会話なら出来そうだという話や本人が今の自分を父親はどう思っているのかと母に漏らしたことがあるという話があり、どういふ会話の仕方が望ましいか皆さんで話し合いました。

コミュニケーションのとり方で相手に何かを要求する言葉と、相手に事実を伝える言葉があり、何かを一方向的に要求する場合、良好な会話を妨げることがあるため、注意が必要と先生はアドバイスされました。日頃、忙しい父親と本人の問題を共有し、父親の協力を得てみるといった提案や、本人の気持ちを先読みし、親が先回りした行動は控えるといった注意点が意見として挙がりました。他のご家庭の話や聞いたことで、参加された方々は多くの気づきがあったようでした。



サポステふくい(ふくい若者サポートステーション)

【お問い合わせ】

福井市光陽2丁目3-22
福井県社会福祉センター1F

TEL 0776-21-0311